執行方針

【要約版】



教育長　中山　秀悦

コロナを「乗り越える」。超スマート社会Society5.0の中で、対面で人と人とのふれあいを基盤に、笑顔で優しさ・温もりのある、人々を、自らを元気にしていく教育行政を。

■変化していく社会を生きる力の育成

【確かな学力を育む教育の推進】

変わる学習環境の中でも学校は授業が命。教師の板書を重視し、タブレットと筆記具、ノートでの「書く活動」を重視します。授業の活性化。生徒指導の機能が生かされている温かな、子どもに力をつける授業を目指します。授業に向かう姿勢・規律性、学習の基盤としての資質・能力を育む活動の充実を継続します。

【豊かな心を育む教育の推進】

子どもが毎朝、友だちのいる学校に行くことが楽しみで目覚める日々を迎えられるよう、いじめの未然防止等に努めます。日常の挨拶や礼儀正しさを重視し、「人の痛みの分かる教育」を実践。いじめゼロ、SNSノートラブルを合い言葉に、しっかり話し合う教育で優しい心を育みます。

【健やかな体を育む教育の推進】

学習や人間関係の構築に向かう意欲の源は体力です。体系化された体育授業の推進に努めます。「ふるさとの恵みとほほえみに感謝する日」等、今金町産食材の良さに触れる食農教育など学校給食の充実と食育の推進に努めます。新型コロナ感染症への対応、そしてがん教育を重視し、健康教育アドバイザーを核に連携した家庭とつなぐ健康教育の推進に努めます。

【多様なニーズに対応した取組の充実】

学校における特別支援教育においても、保健福祉課との連携、特別支援教育スーパーバイザーによる子ども支援や、保護者支援等の充実を図ります。子どもたちに落ち着いた環境を与えるべく、特別支援教育支援員・生活学習支援員を配置してまいります。

欠席即家庭訪問、今金町地域自立支援協議会との連携など、子どもや家庭を支える連携を深め、温かな関係性を構築。不登校ゼロを合い言葉に不登校・登校しぶりへの対応を進めてまいります。

【幼児教育・子育て支援の充実】

令和5年度からの認定こども園いまかねによる、発達支援センター、学童保育所の運営全面移管を控え、子どもたちや保護者が安心して利用できる放課後の子どもの居場所づくりを令和4年度当初から進めてまいります。今金町・町教委「育ちの支援から就労支援」体制に基づいた0歳から18歳までの支援を基本としたオーダーメイドの支援を高等教育機関、相談支援事業所、就労支援団体と連携し行い、家庭を支えてまいります。

■地域の良さを活かし地域と共にある学校づくり

【家庭・地域との連携・協働の推進】

せたな警察署等と連携した「ながら見守り」等の登下校の見守り活動。学校経営の意志決定の支え、ゲストティーチャーの活用。地域と共にあるWin-Win-Winのコミュニティ・スクールの推進に努めてまいります。ボランティアに頼るだけでない学校の部活動支援のあり方についても検討を進めてまいります。

【学校間の連携・継続性】

児童生徒の発達段階を踏まえた小中の教育課程編成。合同授業やオンラインでの授業など、規模の異なる2小学校間の教育課程連携や小中での授業連携、協働の工夫。また必要に応じて檜山北高等学校、今金高等養護学校との連携もしてまいります。

【学校における指導体制の充実】

子どもたちに楽しくワクワクするような授業を提供する源は教職員自身の元気です。働きがいのある学校づくりを進めてまいります。ゆとりをもった業務の中で、仕事の精度を高めていくために、町独自の教職員資質向上研修制度を活用し、地域とのふれあいの場と時間を保障するとともに資質・能力の向上に努めてまいります。

【今金中学校改築事業】

新しい校舎は令和5年4月、グラウンドは令和7年4月の供用開始の予定で工事を進めております。昭和56年以来使用してまいりました現校舎を維持管理しながら開校の準備を進めてまいります。

【今金町学校給食センター改築事業】

昭和52年以来使用しております今金町学校給食センターは、徹底した衛生管理運営体制の構築が重要であること、また老朽化ということもあり、令和4年度より基本計画作成のため、基本設計業務に係る所要の予算を計上しております。

■今金への愛着を自己の成長と町の発展につなげる教育の推進

【協働性を重視した社会教育の推進】

土曜日の教育活動推進プランモデル「わくわくカレッジ　イ

令和4年度 教育行政

マカレ"」を開催。体験プログラムを通して人材育成と教育機能を調和させた学校教育と社会教育の連携・融合を図ってまいります。ますます進むICT化の中で、情報活用能力を向上する基盤、また、全ての学習の基盤、人間関係構築の基盤として言語能力の育成はたいへん重要です。『今金エッセイ（作文）コンテスト』を充実させます。「今金っ子わくわくフェスティバル」を発表の場と押さえ、一年をかけて学校や町民と創作活動を進めてまいります。

【図書関係ボランティア等と連携・協働した広がりのある図書活動】

『生涯学習の支えとしての今金町図書振興会議』を基盤に、図書関係ボランティアや他機関と連携し、幅広い年齢層への読書活動の普及・支援を行ってまいります。家庭で読書を楽しめる事業、本のある空間の下で人々が集える町民センター図書室の環境づくり、地域に出向いての図書貸し出しサービスやまちかど文庫の設置、蔵書管理システムの運用に努め、町民と本・情報を結びつけるよう努めてまいります。

【豊かな国際感覚を育む教育活動】

ニュージーランド・バーンサイド高校との交流は、受け入れと派遣を計画しております。小学校でも外国語（英語）教育を受けた生徒が、これまで以上に生きた英会話を体験できる機会としてオンライン交流なども積極的に模索してまいります。

また国際交流アドバイザーによる英会話料理教室の実施など、幼児から大人・シニア層まで町民が外国語に楽しく親しみやすい機会を提供。国際理解教育・外国語教育の充実を図ってまいります。

【共に進める家庭教育】

少子化、労働体系の変化で子育ての環境も変わってきております。しつけ等の家庭教育を含め、保護者が楽しい雰囲気で子育てを語れる・学べる「親学講座」の一層の充実や親子向け事業を推進してまいります。「家読のすすめ」を推進し、家庭での語らいや親子のコミュニケーションを深めるとともに、「わが家のやくそく」を発行し、規則正しい生活習慣の啓発を図り今金っ子を育んでまいります。

【人づくりの推進】

進む少子化、過疎化の中で地域のリーダーは宝です。「今金ふるさと塾」及び「動く公民館事業」、成人教育を推進してまいります。「ドリームバスツアー」や子ども会主催事業等の体験活動を通じ、人間力向上と地域への愛着を高める取り組みを進めます。「社会教育団体地域育成事業」を通して、ニーズに沿った人材派遣や情報提供を行います。統廃合となった学校の『校歌プロジェクト』も企画し、地域活動活性化の機会としたいと考えております。

地域にはない高等教育機関として大学等との連携を進めてまいります。今金町奨学金貸付基金制度の活用を推進するため、関連する条例の一部改正と併せて所要の予算を計上しております。

■豊かな心を育む文化・芸術の振興

【文化・芸術活動の推進】

文化・芸術を通して仲間づくりや生きがいづくりを担う文化協会への運営支援を図り、生涯を通じた芸術文化活動の推進に努めてまいります。貴重な学びと鑑賞の機会として「今金ミュージックサマースクール」「幼少年芸術劇場」は芸術鑑賞の機会として、町民にも案内して開催いたします。

【文化財保護の振興】

今金町には誇れる「いまかね遺産」が多数あります。これら貴重な文化遺産や自然遺産などの持続可能な保存・活用の基盤、後ろ盾として今金町文化財保存活用地域計画の文化庁認定を目指します。文化財が幅広い年代層に認知される機会を設けるとともに、学校教育での「ふるさと学習プログラム」の導入、観光施設や他市町村の文化財施設との連携を図り、「郷土に誇りを持てる人材を育成するまちづくり」を目指し、計画の策定と埋蔵文化財発掘調査を進めてまいります。

■健やかな心身を育む生涯スポーツの振興

【スポーツ活動の推進】

今金町スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブいまかねと連携したスポーツ機会の提供（スポーツ教室）に努めます。大会及び合宿誘致、軽スポーツの普及活動や外部人材を活用した研修会など、学びの機会の提供や少年団活動の支援を通じた活動を推進してまいります。

【生涯スポーツの振興】

進む高齢化社会に備え、地域人材の活用や外部とも連携し「i-フィット」等のスポーツ教室の開催や、普段運動する機会の少ない人に対して積極的にアプローチするとともに、保健福祉課と連携を図りながら、個人のライフステージに応じた運動プログラムの提供を目指します。総合体育館のトレーニング機器を活用したり、地域支援の一環としてシニア層へのスポーツの意識啓発を行い、町民の健康を支える活動を推進してまいります。

【スポーツ環境の充実】

今や今金町以外では見られなくなってきた町民体育祭やピリカふれあいマラソン等、各種団体との連携による多様な参加機会を提供してまいります。学校開放事業による学校施設の活用促進を図るとともに、外部のアスリート等と連携したスポーツ体験会など、学校とも連携した様々なニーズに対応する体験プログラムの提供に努め、健やかな心身を育む取組を進め、町民の元気に繋げてまいります。